

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
244133098	専門実践実習(疾病予防) Professional Practice Exercises (Disease prevention)	増田尚・内田友乃・岡田瑞恵			1	選択必修	3通期

科目の概要

本学の教育モデル「学びの泉」の実践を通して、自ら学ぶ能力・ともに学ぶ能力を鍛え上げ、管理栄養士に必要な専門的知識・技能だけでなく一般的知識・技能を身に付け、人々の日常生活を健康の面から支援することができる管理栄養士の育成を目指す(DP1~6)。具体的には、今まで学修してきた管理栄養士に必要な専門知識を活用して、地域が抱えている課題を解決する実践的な活動を展開する。

学修内容	到達目標
① 栄養実践活動に参加する対象者の栄養・身体特性を再復習する。 ② 栄養実践活動で取り入れる、栄養に関する各種ガイドラインの内容を精査する。 ③ 栄養実践活動の計画を立案し、実施・評価方法を考える。	① 栄養実践活動に参加する対象者の栄養・身体の課題が抽出できる。 ② 栄養に関する各種ガイドラインを活用して、栄養実践活動の計画を立案できる。 ③ 栄養実践活動を企画・実行し、地域の抱えている課題が解決できているか評価する。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	個人能力を主体的に発揮し、グループ活動では積極的に働きかけ行動に移せる。
	働きかけ力	グループメンバーに影響力を与える行動へと進めることができる。
	実行力	与えられた課題の内容を理解し、取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	複数の課題を抽出することができる。
	計画力	グループ活動の中で、最善のものは何かを提案することができる。
	創造力	例題より課題を発見し創造力を発揮し、課題を解決するために提案ができる。
チームで働く力	発信力	自己の意見を整理して発言することができる。
	傾聴力	授業内容、課題、メンバーの意見等は傾聴することで理解し内容を整理できる。
	柔軟性	グループメンバーの意見・考え・提案に相違点があっても反対するのではなく需要し、自分と相手の意見・考え・提案を整理して、目的・目標に向かって前進させることができる。
	状況把握力	物事がどのように進行しているか把握できる。
	規律性	決められたこと、決めたことは守る意識できる。例えば、提出物の期限を守る。
	ストレスコントロール力	ストレスを感じる出来事を自分の成長の機会だとポジティブに捉えることができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：解剖生理学、公衆衛生学、応用栄養学、日本人の食事摂取基準2020年版（1・2年次に購入済み）

他科目との関連、資格との関連

「専門実践実習（疾病予防）」は、アップグレード分野の科目として位置づけられており、専門分野9分野で修得した知識を活用する。  
 資格との関連：管理栄養士・栄養士

学修上の助言	受講生とのルール
管理栄養士としての知識を生かした指導、助言ができる健康運動実践指導者やNRサブリメント・アドバイザーとしての将来の職業の展望を描いて学習すること。 授業内の課題の提出及びフィードバックは、google classroomを通してスプレッドシートまたはドキュメントシートを用いる。また、授業内外でNotebook LMを利用する。	学外活動が主となるため、欠席しないように体調管理を徹底すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
	小テスト	0	①			
			②			
			③			
	レポート	20	①	✓		個人発表の要約（A4サイズ1枚（両面）） （活用）専門知識の活用：60% （解決）栄養実践活動の客観的な評価ができる：40%
			②	✓		
③			✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	70	①	✓	①個人発表（20%） （活用）専門知識の活用：50% （解決）栄養実践活動の客観的な評価ができる：50% ②成果物①（40%） （活用）専門知識の活用：50% （解決）地域が抱えている課題を解決できる媒体や資料が作成できる：50% ③成果物②（他活動への参画）（10%） （活用）専門知識の活用：50% （解決）地域が抱えている課題を解決できる媒体や資料が作成できる：50%		
		②	✓			
		③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	(主体性)自分の卒業後のビジョンをしっかりとシートに明記できる。 (働きかけ力)グループメンバーに影響力を与える行動へと進めることができる。 (実行力)授業中は、常に集中しているため、授業内でシートの記入ができる。 (課題発見力)科目の到達目標・意義をしっかりと理解しているため、ビジョン達成のためのやるべき事が明確である。 (計画力)課題を解決するために計画したことが、ワークシートに記述できている。 (創造力)課題を解決する行動がとれているため、有意義なグループ討議ができる。 (発信力)みんなが共感できたり・納得できる発信をしているため、円滑なグループ討議ができる。 (傾聴力)話している人の顔とか目を見て聴き、話しやすい雰囲気を作り、グループ討議ができる。 (柔軟性)自分と相手の意見・考え・提案を整理して、目的・目標に向かって前進させる意見をいうことができる。 (状況把握力)物事がどのように進行しているか把握できる。 (規律性)期限内に課題が提出できる。 (ストレスコントロール力)ストレスを感じる出来事を自分の成長の機会だとポジティブに捉えた行動ができる。	
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
学修内容を十分に理解し、要点や課題を的確にまとめることができ、発表内容や課題は独自性があり、その評価が90%以上のときはS(秀)。発表内容やレポート内容にオリジナルの考察が加えられていて、課題の評価が80%以上であればA(優)。	発表内容やレポートの内容がホームページで調べたものが主で、課題の評価が70%以上のときはB(良)。発表内容や課題がほぼホームページのみから作成したもので、課題の評価が60%以上のときはC(可)とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 連携先の健康・栄養活動の説明 栄養実践活動の企画運営(part1)① 地域の身体・栄養に関する課題を抽出する。	グループワーク(増田) ディスカッション	対象とするライフステージの生理・栄養問題を抽出できる。	(予習) 疾病予防の観点での栄養実践活動のイメージを考える。 (復習) グループ発表の準備を行う。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
2	栄養実践活動の企画運営(part1)②	グループワーク(増田) ディスカッション	対象としたライフステージの課題を抽出できる。	(予習) 疾病予防の観点での栄養実践活動のイメージを考える。 (復習) グループ発表の準備を行う。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
3	栄養実践活動の企画運営(part1)③ 地域の身体・栄養に関する課題について発表し、栄養実践活動の実施案を作成する。	グループワーク(岡田) ディスカッション	コンセプトを立案できる。	(予習) 対象者の栄養摂取状況の評価を行う。 (復習) 課題点を抽出し、改善を図る。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
4	栄養実践活動の企画運営(part1)④ 対象ライフステージ、企画の内容(コンセプト)、試作、評価指標について決定する。	グループワーク・発表・振り返り(岡田)	生活習慣病と食生活の関連について栄養実践活動の企画を立案できる。	(予習) 具体的な栄養実践活動の企画を提案する。 (復習) 発表内容の振り返りを行う。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
5	栄養実践活動の企画運営(part1)⑤ 1-4週目で決定したことを全員で確認し、栄養実践活動の準備を行う。	グループワーク(内田) ディスカッション ロールプレイング	地域の方を対象としたイベントのアピールポイントと指導の要点を説明できる。	(予習) 生活習慣病予防と食生活を説明するための媒体を考案する。 (復習) 市民の健康に対する認識と健康に必要な知識のギャップとその対処法をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
6	栄養実践活動の企画運営(part1)⑥ 栄養実践活動内容を立案する。	グループワーク(内田) ディスカッション ロールプレイング	栄養実践活動実施に向けて準備を進めていくことができる。	(予習) 課題及び改善点を抽出する。 (復習) 改善点の再考、修正案を作成する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
7	栄養実践活動の企画運営(part1)⑦	グループワーク・発表・振り返り(増田) ロールプレイング	栄養実践活動の実施に向けて準備を進めていくことができる。	(予習) 課題及び改善点を抽出する。 (復習) 改善点の再考、修正案を作成する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	栄養実践活動の企画運営(part1)⑧ 栄養実践活動を立案し、提案する。  栄養実践活動の実施(part2)①	実習、グループワーク(学外：増田、学内：岡田)	栄養実践活動に向けて準備を進めていくことができる。	(予習) 課題及び改善点を抽出する。 (復習) 改善点の再考、修正案を作成する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	栄養実践活動の企画運営(part1)⑨ 栄養実践活動(part2)①の振り返り	実習、グループワーク、個人発表(内田・岡田・増田)	栄養実践活動実施に向けて準備を進めていくことができる。	(予習) 課題及び改善点を抽出する。 (復習) 改善点の再考、修正案を作成する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	栄養実践活動の企画運営(part1)10 栄養実践活動の実施(part2)②	実習、グループワーク(引率:岡田、学内:内田)	栄養実践活動に向けて準備を進めていくことができる。	(予習) 課題及び改善点を抽出する。 (復習) 改善点の再考、修正案を作成する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	栄養実践活動の企画運営(part1)11 栄養実践活動(part2)②の振り返り	実習、グループワーク、個人発表(内田・岡田・増田)	模擬発表を円滑に実施できる。	(予習) 課題及び改善点を抽出する。 (復習) 改善点の再考、修正案を作成する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12	栄養実践活動の企画運営(part1)12 栄養実践活動の実施(part2)③	実習、グループワーク(引率:内田、学内:増田)	栄養実践活動に向けて準備を進めていくことができる。	(予習) 課題及び改善点を抽出する。 (復習) 改善点の再考、修正案を作成する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	栄養実践活動の実施(part2)④	実習、グループワーク(引率:増田、学内:岡田)	周りの状況に応じて適切な行動が取れる。	(予習) 健康・栄養教室の内容を確認する。 (復習) 実践活動の課題点を抽出する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	栄養実践活動実施(part2)③④の振り返り	個人発表、ディスカッション(内田・増田・岡田)	抽出した課題の改善案を立案できる。	(予習) 発表準備を行う。 (復習) 実践活動の課題点を抽出する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	まとめ	個人発表および討議(内田・増田・岡田)	他者の意見を聴いて自分の考えを発言できる。	(予習) 活動レポートを作成する。 (復習) 提出出来るよう活動媒体・レポートをまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力